

■ 語句解説集

■ アルファベット	
AI	Artificial Intelligence の略称。人工知能の総称。
BtoC	企業(Business)が一般消費者 (Consumer) を対象に行うビジネス形態。
e コマース	インターネット上で商品やサービスの売買を行う電子商取引。
e スポーツ	コンピューターゲーム、ビデオゲームを使ったスポーツ競技。
e-ラーニング	インターネットを利用した学習形態。
GIGA スクール（構 想）	GIGA=Global and Innovation Gateway for All の略称。義務教育を受ける児童生徒のために、1人1台の学習者用 PC と高速ネットワーク環境などを整備する構想。
ICT	Information and Communication Technology の略称。情報通信技術の総称。
IoT	Internet of Things の略称。様々なモノがインターネットに接続され、情報交換することにより、相互に制御する仕組みのこと。
KGI	Key Goal Indicator の略。戦略の成果を評価するための指標のこと。
KPI	Key Performance Indicator の略。目標の達成度を評価するための重要業績評価指標のこと。
PDCA サイクル	「Plan=計画」「Do=実行」「Check=評価」「Action=改善」の4つの段階を循環的に繰り返し行うことで、業務を継続的に改善する方法。
SDGs	Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略。2015年の国連サミットにおいて採択されたもので、貧困や飢餓、さらには気候変動や平和など広範な分野にわたって17の目標が設定されている。
SNS	Social Networking Service の略。インターネット上で共通の趣味を持つ人達との交流を目的としたサービスの総称。
Society5.0 【ソサエティ 5.0】	Society1.0（狩猟社会）、2.0（農耕社会）、3.0（工業社会）、4.0（情報社会）に続く新たな社会。AI、IoTなどの新たな技術により、これまでの社会の課題を解決する未来社会。
UI ターン	U ターンは、地方に生まれ育った人が都市圏への進学や就業を経た後に再び地方の生まれ故郷に戻ることに。I ターンは、都市圏に生まれ育った人が、地方に移住すること。なお、J ターンは、地方出身者が都会の大学へ進学し卒業後、出身地とは異なる地方に移住すること。
VR	Virtual Reality の略。コンピューターによって作り出された仮想現実。
Web	World Wide Web の略。インターネットを利用して情報を発信したり閲覧したりするための仕組み。
Wi-Fi	Wireless Fidelity の略。電波を用いて数 m～数十 m 程度の範囲内で高速なデータ通信を行う通信技術。
■ ア行	
アーバンスポーツ	BMX、スケートボード、などといった、都市型スポーツ。
空き家バンク	空き家の所有者と、空き家の利用を希望する人（住みたい人）が登録し、市がその情報を提供する制度。
アクセス	接近すること。交通の便。ネットワークや通信回線などを使って他のコンピューターに接続すること。
アグリビジネス	農林水産・食品関係の産業のこと。ここでは地域の発展を牽引する高付加価値農業の展開。
アンテナショップ	企業や地方自治体などが自社あるいは地元の製品を広く紹介したり、消費者の反応を探ったりする目的で開設する店舗。
いこる	備後地方の方言で「炭に火が熾(おこ)り赤々と燃えている状態」の意。「いこった」炭は、やすやすとは消えず、また、周りの炭も「いこらせて」いくことから、本計画では、まちづくりの灯を起こすことや起こす人たちの熱量にあてられてまちづくりの灯が次々と広がっていく様を表す意味で使用している。
イノベーション	新製品開発や新資源発見など、旧来のものに代わって新規のものが登場すること、革新されること。
イノベーター	新しい常識をつくりだす革新的な人材。

インターンシップ	体験就業。学生が在学中に自分の専攻に関連する企業に体験入社する制度。
インナープロモーション	社内（エリア内）での意思統一や士気の高揚を目的とした活動。
インバウンド	インバウンド（ツーリズム）。訪日外国人による観光。
インフラ	インフラストラクチャーの略。生産や生活の基盤を形成する基礎的な構造物。道路・通信施設などの産業基盤、および学校・病院・公園などの社会福祉・環境施設がこれに該当する。
ウェアラブル端末	腕や頭部など、身体に装着して利用することが想定されたコンピューター端末の総称。
エンパワーメント	社会や組織の一人ひとりが、発展や改革に必要な力を付けること。
オープンデータ	公的機関や企業等が保有するデータを、著作権、特許などの制限がなく、第三者が活用できる情報として公開する仕組み。
オンライン診療	ICT 機器を通して離れた場所から診察する方法。
■カ行	
カリキュラム	一定の教育の目的に合わせて教育内容と学習支援を総合的に計画したもの。
環境負荷	人が環境に与える負担のこと。単独では環境への悪影響を及ぼさないが、集積することで悪影響を及ぼすものも含む。
関係人口	移住した「定住人口」でもなく、観光にきた「交流人口」でもない、地域や地域の人々と多様に係る人々をさす。
企業版ふるさと納税	地方公共団体による地方創生のプロジェクトに対して寄附をした企業の税負担を軽減する仕組み。
義務教育学校	小学校課程から中学校課程までの 9 年間の義務教育を一貫して行う施設一体型の学校。独自のカリキュラム編成が可能となる「教育課程の特例」が認められる。
キャッシュレス	現金を使わずに支払い・受け取りを行う決済方法。
クラウドファンディング	インターネットを通して自分の活動や夢を発信することで、想いに共感した人や活動を応援したいと思ってくれる人から資金を募る仕組み。
クリエイター	創作者。デザイナー、カメラマン等をさす。
クリエイティビティ	創造性。
健康寿命	健康上の問題で日常生活が制限されことなく生活できる期間。
グローバル・パートナーシップ	SDGs 等を推進するため地球規模の協力関係をもち、世界平和・環境問題など世界的問題の解決のため提携すること
グローバル化	政治・経済、文化など、さまざまな側面において、従来の国家・地域の垣根を越え、地球規模で資本や情報のやり取りが行われること。
国土強靱化	「強さ」と「しなやかさ」を持った安全・安心な国土・地域・経済社会の構築に向けた取組。
こども食堂	地域住民や自治体が主体となり、無料または低価格帯で子供やその親、地域の人々たちに食事を提供するコミュニティの場。
コミュニティ・スクール	保護者や地域住民の声を学校運営に直接反映させ、学校・家庭・地域・教育委員会が目標を共有し、一体となって、地域の子供たちを育む仕組みのこと。
コミュニティソーシャルワーカー	地域で困っている人と必要な支援を結びつけたり、地域福祉活動を活性化させたりする、いわば「地域のつなぎ役」をする人。
コワーキングスペース	事務所スペース、会議スペース等を共有しながら独立した仕事をするができるスペースのこと。
コンテンツ	テレビやインターネット、スマートフォン等のメディアを介して伝達される文字や映像などの情報のことを指す。もともとは「中身」という意味で、情報の内容や中身のことをいいます。
■サ行	
サテライトオフィス	パソコンやファクシミリを設置し、情報通信技術を活用して、本社などと連絡をとりながら業務を行うオフィス。
シェアリングエコノミー	個人等が保有する活用可能な資産等（スキルや時間等の無形のものを含む。）を、インターネットを介して他の個人等も利用可能とする経済活性化活動。
ジェンダー	性別に基づいて社会的に要求される役割などの社会的性差。
自主防災組織	住民が地域ごとに団結して、まちぐるみで防災活動を行うための組織。
シティプロモーション	地域のイメージを高め、知名度を向上させる活動のこと。

住宅セーフティネット	独力では住宅を確保することが困難な人が、それぞれの所得、家族構成、身体状況等に適した住宅を確保できるような仕組み。
ストックマネジメント	既存の建築物（ストック）を有効に活用し、長寿命化を図る体系的な管理手法。
スポーツツーリズム	スポーツを見に行くための旅行およびそれに伴う周辺観光や、スポーツを支える人々との交流などスポーツに関わる様々な旅行のこと。
スマート農業	ロボット技術や ICT を活用して、省力化・精密化や高品質生産を実現する等を推進している新たな農業。
セーフティネット	安全網。ライフセーフティネットワークのことで、何らかの生活課題を抱えた人が、さらに困難な状況に陥らないように、安全網として生活を支える制度や仕組みのこと。
総合型地域スポーツクラブ	公共施設等を拠点に自分たちのニーズに合ったスポーツの場を運営していくという「住民主導型」のスポーツクラブ。
■タ行	
ターゲット	目標・対象。
ダイバーシティ	性別や人種の違いに限らず、年齢、性格、学歴、価値観などの多様性を受け入れ、広く人材の能力を活かすこと。
タブレット	画面を直接触って操作する、携帯できる情報端末。
多文化共生	文化や民族などの異なる人々が、それぞれの文化や価値観の違いを認め、同じ地域社会の一員として、共に生きていこうとする考え方。
地域包括ケアシステム	地域の実情に応じて高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、医療、介護、介護予防、住まい及び自立した日常生活の支援が包括的に確保される体制。
中一ギャップ	小学生が中学に進級した際に起こる勉強や心理面でのギャップ。
ディーセント・ワーク	家庭と仕事の両立を可能とした、働きがいのある人間らしい仕事ができる社会。
データヘルス	医療報酬明細書等のデータの分析に基づく健康保持増進を進めること。
デジタルトランスフォーメーション（DX）	「デジタルによる変革」を意味し、ICT の進化にともない、デジタルデータ、デジタル技術を使い新たなサービスやビジネスモデルを展開することで社会そのものの変革につなげる施策を総称したもの。
デジタルマーケティング	インターネットや ICT など「デジタル」を活用したマーケティング手法。
デュアルライフ	2つの地域に拠点をもち、生活すること。
テレワーク	情報通信技術（ICT）を活用した、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方。
特定空家	放置しておくくと倒壊等著しく保安上危険となる恐れのある状態や周辺の生活環境の保全を図るために放置することが不適切な状態などと認められた空家。
ドローン	無人航空機。産業・商用として活用シーンが広がっているマルチコプター。
■ナ行	
ネウボラ	妊娠から出産まで、さらに子供が生まれた後も基本的には6歳まで切れ目なく育児に対するサポートを提供する総合的な支援サービス。
ノーマライゼーション	障害者や高齢者と健常者がお互いに特別な区別なく、等しく生きる社会・福祉環境の整備、実現を目指す考え方。
ノスタルジック	故郷や遠い昔などを懐かしく感じる様。
■ハ行	
パーソナルデータ	特定の個人に関する情報。本計画では、医療分野の個人の診療情報等をさす。
バイヤー	小売店、食品など小売業の仕入れ担当者。
働き方改革	労働環境を大きく見直す取り組みのことを指し、働く人びとが、個々の事情に応じた多様で柔軟な働き方を、自分で「選択」できるようにするための改革。
8050（ハチマルゴーマル）問題	「80」代の親が「50」代の子供の生活を支えるという問題でこうした親子が引きこもり等により社会から孤立する問題。
パブリシティ	PR の一種でプレスリリースやインタビューへの応対などを通じてメディアに報道として自社に関する内容を取り上げてもらう活動。

ハラスメント	相手の意に反する行為によって不快な感情を抱かせることであり、「嫌がらせ」をさす。代表的なものは「地位や権力などを背景に相手に嫌がらせを行うパワハラ（パワー・ハラスメント）」や「男女問わず性的な嫌がらせを行うセクハラ（セクシャル・ハラスメント）」などがある。
パラダイムシフト	時代や社会において、常識的な考え方の枠組み（パラダイム）が、革命的、劇的に大きく転換（シフト）すること。
バリアフリー	日常生活や社会生活における物理的、心理的な障害や、情報に関わる障壁などを取り除くこと。
ピクトグラム	一般に「絵文字」「絵単語」などと呼ばれ、何らかの情報や注意を示すために表示される視覚記号（サイン）の一つ。
ビッグデータ	膨大かつ複雑なデータの関係性を分析することで新たな価値を生み出すデータ群。
避難行動要支援者	高齢者、障害者、乳幼児等の防災施策において特に配慮を要する人（要配慮者）のうち、必要な情報を迅速かつ的確に把握し、災害から自らを守るために安全な場所に避難するなどの災害時の一連の行動をとるのに特に支援を要する人。
5G（ファイブ・ジー）	「第5世代移動通信システム」のことで「高速大容量」「高信頼」「低遅延通信」「多数同時接続」といった特徴をもつ。
ファミリーサポート事業	子育ての応援をしてほしい人（依頼会員）と子育ての応援ができる人（援助会員）が、会員として登録し、地域において子育ての相互援助を行う事業。
副業人材	多様で柔軟な働き方が進む中で、副業・兼業によって多様な能力を発揮する人材。
プチワーク	子育て中の母親や高齢者などが、限られた短時間の中で働ける仕事。
フューチャーセンター	多様な人が集まり、未来志向の対話によって新たなアイデアや中長期的な課題解決を目指す取り組みもしくはスペース。
ブラッシュアップ	磨きをかける、さらによくする。
プラットフォーム	駅の「プラットフォーム」にさまざまな人が乗っているように、近年、上部のさまざまなものを下から広く支えるグループや機能を指す用語として使用されている。
フレイル予防	年をとることで心と体の働きが弱くなってきた状態で、健康な状態と日常生活でサポートが必要な介護状態の中間をフレイル（虚弱）と呼び、健康長寿に向けて予防すること。
プログラミング教育	ロボット等に自分が意図する動作をさせるために必要となる、命令の順序立て、分岐、繰り返しなどの組み合わせやその改善の検討などを通して、論理的な思考を育てる教育。
併設型小中学校	小学校と中学校を併設し、接続して小中一貫教育を行う学校。独自のカリキュラム編成が可能となる「教育課程の特例」が認められる。
ポテンシャル	本来持っているが現れていない潜在的な能力。
■マ行	
マイタイムライン	台風や大雨の水害等、これから起こるかもしれない災害に対し、一人ひとりの家族構成や生活環境に合わせて、「いつ」「誰が」「何をするのか」をあらかじめ時系列で整理した自分自身の防災行動計画のこと。
マイノリティ	社会的少数派。
マッチング	異なったものを組み合わせること。照合すること。
マネジメント	さまざまな資源・資産・リスクを管理し、効果を最大化する手法のこと。
メンタルヘルス	仕事や人間関係などで悩みやストレスを訴える労働者が増加する中で取り組む、予防、早期発見、再発防止などの一連の心の健康づくり。
モチベーション	人が何かをする際の動機づけや目的意識。
■ヤ行	
ユニバーサル・デザイン	文化、言語並びに国籍の違い、老若男女といった差異、障がいの有無や能力を問わずに利用することができる設計（デザイン）。
■ラ行	
ライフサイクルコスト	公共施設等を企画・設計・建設し、その施設を維持管理して、最後に解体・廃棄するまでの、施設の全生涯に要する費用の総額。
ライフスタイル	生活の様式・営み方。また、人生観・価値観・習慣などを含めた生活の送り方。

リーマンショック	平成 20 年 9 月にアメリカの投資銀行の経営破たんをきっかけとして発生した世界的な金融恐慌。
リカレント教育	学校を修了して社会に出た人が、必要に応じて働きながらまたは仕事を離れ、再び学校で受けることができる教育。
リテラシー	読み書きの能力の意、多くは特定の分野の知識。本計画で使われる「ICT リテラシー」は膨大な情報の中から、自ら情報を取捨選択し、本当に必要なデータを選別する能力を養うこと。
リノベーション	一般的に、建物の改修のこと。広義で新たなものを「つくり変える」という意味に用いられる。
レジリエント	速やかに元の状態に回復する能力・性質。
ローカル 5 G	地域ニーズや個別ニーズに応じて企業や自治体など様々な主体が利用可能な第 5 世代移動通信システム。
ロボテックス	ロボット工学、ロボットに関する技術を研究する学問。
■ワ行	
ワークシェアリング	勤労者同士で雇用を分け合うこと。労働時間を短縮することにより、社会全体の雇用者数を増やそうとする政策。
ワークショップ	まちづくりなど様々なテーマで参加者が集まり、意見をかわす集会。
ワーケーション	「ワーク」（仕事）と「バケーション」（休暇）を組み合わせた造語で、「働きながら休暇を取る」こと。



発 行

令和2年6月

編 集

広島県府中市 総務部 政策企画課
〒726-8601 広島県府中市府川町315番地